

2026年3月期 中間決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年11月14日

上場会社名 株式会社デントス

上場取引所

東

コード番号 6174

URL <https://www.dentas.jp/>

代表者(役職名) 代表取締役

(氏名) 河野恭佑

問合せ先責任者(役職名) 取締役管理部長

(氏名) 大崎 隆

(TEL) (088) 657-3115

発行者情報提出予定日 2025年12月26日

配当支払開始予定日

—

中間決算補足説明資料作成の有無 : 無

中間決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期中間期の連結業績(2025年4月1日~2025年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	449	△4.5	△23	—	△23	—	△22	—
2025年3月期中間期	470	21.7	△0	—	3	—	1	—

(注) 中間包括利益 2026年3月期中間期 △24百万円(—%) 2025年3月期中間期 2百万円(—%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	△55.51	—
2025年3月期中間期	4.59	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	454	23	△0.3
2025年3月期	518	48	4.1

(参考) 自己資本 2026年3月期中間期 △1百万円 2025年3月期 21百万円

2. 配当の状況

	年間配当金		
	中間期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0 00	0 00
2026年3月期	—		
2026年3月期(予想)		0 00	0 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	1,044	14.4	39	440.3	36	252.1	33	18.5
								82.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有・☒無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有・☒無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有・☒無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有・☒無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有・☒無
- ④ 修正再表示 : 有・☒無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期中間期	406,666株	2025年3月期	406,666株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	1,300株	2025年3月期	1,300株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年3月期中間期	405,366株	2025年3月期中間期	405,366株

※ 中間決算短信は、公認会計士又は監査法人の中間監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報、および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、中間決算短信（添付資料）4ページの「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 経営成績の概況	2
(2) 財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等について	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 中間連結貸借対照表	6
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	8
(3) 中間連結株主資本等変動計算書	10
(4) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 中間連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	13
(セグメント情報等)	14
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 経営成績の概況

当中間連結会計期間（2025年4月1日～2025年9月30日）における我が国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調で推移した一方で、依然として続く物価上昇の影響等により今後の景気悪化懸念が残されております。また、米中貿易摩擦の悪化、ロシア・ウクライナ情勢の長期化による世界的な経済活動の停滞等による地政学リスクの高まりにより、世界情勢は引き続き不安定であり、景気の先行きも依然不透明な状況となっております。

また、当社グループが事業を営む歯科関連業界及び日雑業界においても、原材料価格の高騰や競争の激化等により厳しい状況が続いております。

こうした事業環境のもと、当社グループは主力セグメントであるオーラルケア製品製造販売事業及びマウスピース矯正事業の業容拡大に注力してまいりました。その結果、当中間連結会計期間において、オーラルケア製品製造販売事業については売上高が増加したものの、マウスピース矯正事業については今後の拡大に向けた業務フローの見直しにより一時的に契約数が減少することとなりました。

このような状況の下、当中間連結会計期間における売上高は449,328千円（前年同期比4.5%減）、営業損失は23,103千円（前中間連結会計期間は営業損失583千円）、経常損失は23,984千円（前中間連結会計期間は経常利益3,029千円）、親会社株主に帰属する中間純損失は22,503千円（前中間連結会計期間は親会社株主に帰属する中間純利益1,864千円）となりました。

セグメントごとの経営成績は以下のとおりであります。

(歯科技工関連事業)

当セグメントの売上高は113,112千円（前年同期比23.7%減）、セグメント損失は15,684千円（前中間連結会計期間はセグメント損失18,613千円）となりました。

・歯科技工

主な売上である歯科技工物の製作については、競争激化による受注件数の減少及び有限会社マリンデンタルを前連結会計年度中に連結除外したことによる影響により、売上高は49,002千円（前年同期比52.5%減）となりました。

・歯科技工商品・製品販売

一部商品について、原材料価格の高騰による販売数量の減少及び一部取引先からの受注減少により、当中間連結会計期間における売上高は19,617千円（前年同期比24.6%減）となりました。

・歯科関連商品販売

AED他、歯科関連商品の販売増加により、当中間連結会計期間における売上高は44,492千円（前年同期比132.2%増）となりました。

(オーラルケア製品製造販売事業)

連結子会社のアイオニック株式会社におけるイオン歯ブラシの海外売上（特にタイへの販売）が伸長し、当セグメントの売上高は291,836千円（前年同期比12.8%増）となったものの、原材料や人件費の高騰等を原因とする利益率の低下によってセグメント損失5,403千円（前中間連結会計期間はセグメント利益5,209千円）となりました。

＊イオン歯ブラシ：内蔵されたリチウム電池から10～50マイクロアンペア（100万分の10～50アンペア）の微弱電流（マイナスイオン）を流して、虫歯・歯周病・口臭の原因となる「歯垢」を効率的に取り除く歯ブラシ

(マウスピース矯正事業)

患者の負担を軽減し、成約率の向上及び今後の業容拡大を目指し、オンライン診療を中心とする業務フローの見直しを順次導入しておりますが、前中間連結会計期間においては未だ移行段階にあり、当セグメントの売上高は44,379千円（前年同期比30.5%減）と減少し、セグメント利益も12,875千円（前年同期比51.9%減）となりました。

(2) 財政状態の概況

①資産、負債および純資産の状況

当中間連結会計期間末における、資産、負債および純資産の状況は、次のとおりです。

(ア)流動資産

流動資産は315,414千円となり、前連結会計年度末と比較して60,183千円減少しました。

主な科目の増減及び増減理由は次のとおりです。

- ・現金及び預金が71,472千円減少しました。

これは主に、中間純損失24,278千円の計上及び長期借入金の返済等によるものであります。

(イ)固定資産

固定資産は138,821千円となり、前連結会計年度末と比較して3,649千円減少しました。

主な科目別の増減及び増減理由は次のとおりです。

- ・有形固定資産が2,719千円減少しました。

これは主に、減価償却が進んだことによるものであります。

(ウ)流動負債

流動負債は291,702千円となり、前連結会計年度末と比較して25,525千円減少しました。

主な科目別の増減及び増減理由は次のとおりです。

- ・1年内返済予定の長期借入金が9,959千円減少しました。

これは借入金の返済によるものであります。

- ・未払消費税等が10,171千円減少しました。

(エ)固定負債

固定負債は138,675千円となり、前連結会計年度末と比較して14,029千円減少しました。

主な科目別の増減は次のとおりです。

- ・長期借入金が16,030千円減少しました。
- ・退職給付に係る負債が2,168千円増加しました。

(オ) 純資産

純資産は23,857千円となり、前連結会計年度末と比較して24,278千円減少しました。

これは主に、親会社株主に帰属する中間純損失22,503千円の計上によるものです。

② キャッシュ・フローの概況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末と比較して71,472千円減少し、55,841千円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、使用した資金は36,745千円となりました（前中間連結会計期間は獲得した資金32,389千円）。これは主に、税金等調整前中間純損失23,984千円の計上、及び棚卸資産が10,741千円増加したこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は8,029千円となりました（前中間連結会計期間は使用した資金7,829千円）。これは主に、有形固定資産の取得による支出7,859千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は26,695千円となりました（前中間連結会計期間は獲得した資金4,119千円）。これは主に、長期借入による収入5,600千円があった一方、長期借入金の返済による支出が31,589千円であったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期における通期連結業績予想につきましては、2025年5月15日付の決算短信で公表した業績予想から変更しておりません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等について

当社グループは、前連結会計年度において、親会社株主に帰属する当期純利益がプラスとなったものの、当中間連結会計期間においては、営業損失23,103千円、経常損失23,984千円、親会社株主に帰属する中間純損失22,503千円を計上しております。

当該状況により継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当社グループは当該状況を解消し又は改善すべく、以下の対応策に取り組み、安定した収益基盤の確立、コスト削減および資金調達等による、財務基盤の強化を目指してまいります。

具体的には次のとおりであります。

1. 既存事業である歯科技工関連事業、オーラルケア製品製造販売事業及びマウスピース矯正事業の収益拡大と利益率の向上を目指し、さらに新規事業として歯科関連ビジネスの立ち上げと育成にも努めてまいります。
2. イオン歯ブラシの製造販売を行っている連結子会社アイオニック株式会社との連携によって、収益基盤の拡大とシナジー効果の創出に努めてまいります。
3. 主要取引先であり、アイオニック株式会社への共同出資を実施した株式会社シケンと引き続き緊密に連携し、収益の拡大を図ってまいります。

4. 人件費を含めた経費の全面的見直しを実施、不採算部門の縮小等リストラクチャリングを積極的に推進し、キャッシュ・フローの最大化を目指してまいります。
5. 財務状態の改善を目指し、新たなファイナンスの検討を実施、同時に借入金等その他の資金調達についても進めてまいります。

以上の対応策を中心とした経営の効率化を図り、安定的な収益基盤を構築すべく努めてまいります。

しかしながら、これらの対応策は実施途上であり、計画が全て順調に推移するとは限らず、不測の事態も考えられることから、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、中間連結財務諸表は継続企業を前提として作成されており、上記のような継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を中間連結財務諸表には反映しておりません。

2 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	127,314	55,841
受取手形及び売掛金	87,987	86,498
電子記録債権	21,091	25,243
商品及び製品	36,063	34,018
仕掛品	4,876	5,481
原材料及び貯蔵品	84,367	96,617
その他	21,030	18,645
貸倒引当金	△7,132	△6,931
流動資産合計	375,598	315,414
固定資産		
有形固定資産		
建物	205,847	206,447
減価償却累計額	△154,282	△155,863
建物(純額)	51,565	50,584
機械装置及び運搬具	392,067	392,067
減価償却累計額	△381,205	△383,854
機械装置及び運搬具(純額)	10,862	8,213
工具、器具及び備品	370,664	376,724
減価償却累計額	△346,941	△351,447
工具、器具及び備品(純額)	23,723	25,276
リース資産	7,284	7,284
減価償却累計額	△6,428	△7,070
リース資産(純額)	856	214
土地	41,500	41,500
有形固定資産合計	128,506	125,787
無形固定資産		
ソフトウェア	7,605	6,742
借地権	4,900	4,900
無形固定資産合計	12,505	11,642
投資その他の資産		
破産更生債権等	122,832	122,832
その他	1,459	1,391
貸倒引当金	△122,832	△122,832
投資その他の資産合計	1,459	1,391
固定資産合計	142,471	138,821
資産合計	518,070	454,236

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	46,401	40,688
短期借入金	150,000	150,000
1年内返済予定の長期借入金	59,617	49,658
リース債務	941	235
未払金	19,491	21,002
未払法人税等	823	450
未払消費税等	10,849	677
前受金	6,222	2,998
賞与引当金	9,147	11,100
その他	13,734	14,891
流動負債合計	317,228	291,702
固定負債		
長期借入金	122,671	106,641
繰延税金負債	3,424	3,256
退職給付に係る負債	24,570	26,738
資産除去債務	2,040	2,040
固定負債合計	152,705	138,675
負債合計	469,934	430,378
純資産の部		
株主資本		
資本金	67,984	67,984
資本剰余金	30,000	30,000
利益剰余金	△76,844	△99,347
株主資本合計	21,140	△1,362
非支配株主持分	26,995	25,219
純資産合計	48,136	23,857
負債純資産合計	518,070	454,236

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	470,721	449,328
売上原価	315,963	323,492
売上総利益	154,757	125,836
販売費及び一般管理費	155,340	148,940
営業損失(△)	△583	△23,103
営業外収益		
受取利息	10	103
受取配当金	2	1
作業くず売却益	7,206	1,836
その他	440	394
営業外収益合計	7,659	2,335
営業外費用		
支払利息	3,737	2,946
為替差損	232	191
雑損失	77	77
営業外費用合計	4,047	3,216
経常利益又は経常損失(△)	3,029	△23,984
税金等調整前中間純利益 又は税金等調整前中間純損失(△)	3,029	△23,984
法人税、住民税及び事業税	823	461
法人税等調整額	△168	△168
法人税等合計	655	293
中間純利益又は中間純損失(△)	2,374	△24,278
非支配株主に帰属する中間純利益 又は非支配株主に帰属する中間純損失(△)	509	△1,775
親会社株主に帰属する中間純利益 又は親会社株主に帰属する中間純損失(△)	1,864	△22,503

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益又は中間純損失(△)	2,374	△24,278
中間包括利益	2,374	△24,278
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	1,864	△22,503
非支配株主に係る中間包括利益	509	△1,775

(3) 中間連結株主資本等変動計算書

前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	67,984	30,000	△105,105	△7,120
当中間期変動額				
親会社株主に帰属する 中間純利益			1,864	1,864
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)				
当中間期変動額合計	—	—	1,864	1,864
当中間期末残高	67,984	30,000	△103,240	△5,256

	非支配株主持分	純資産合計
当期首残高	23,452	16,331
当中間期変動額		
親会社株主に帰属する 中間純利益		1,864
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)	509	509
当中間期変動額合計	509	2,374
当中間期末残高	23,961	18,705

当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	67,984	30,000	△76,844	21,140
当中間期変動額				
親会社株主に帰属する 中間純損失(△)			△22,503	△22,503
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)				
当中間期変動額合計	—	—	△22,503	△22,503
当中間期末残高	67,984	30,000	△99,347	△1,362

	非支配株主持分	純資産合計
当期首残高	26,995	48,136
当中間期変動額		
親会社株主に帰属する 中間純損失(△)		△22,503
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)	△1,775	△1,775
当中間期変動額合計	△1,775	△24,278
当中間期末残高	25,219	23,857

(4) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益 又は税金等調整前中間純損失 (△)	3,029	△23,984
減価償却費	11,876	11,641
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	3,412	△200
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	1,410	2,168
受取利息及び受取配当金	△13	△104
支払利息	3,737	2,946
売上債権の増減額 (△は増加)	44,670	△2,662
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△12,896	△10,741
仕入債務の増減額 (△は減少)	△7,395	△5,713
その他	△9,597	△6,419
小計	38,233	△33,070
利息及び配当金の受取額	13	104
利息の支払額	△4,917	△2,945
法人税等の支払額	△940	△834
営業活動によるキャッシュ・フロー	32,389	△36,745
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△7,859	△7,859
無形固定資産の取得による支出	—	△200
その他	30	30
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,829	△8,029
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	50,000	—
長期借入れによる収入	7,500	5,600
長期借入金の返済による支出	△52,674	△31,589
リース債務の返済による支出	△706	△706
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,119	△26,695
現金及び現金同等物に係る換算差額	△32	△2
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	28,646	△71,472
現金及び現金同等物の期首残高	83,335	127,314
現金及び現金同等物の中間期末残高	111,981	55,841

(5) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当社グループは、前連結会計年度において、親会社株主に帰属する当期純利益がプラスとなったものの、当中間連結会計期間においては、営業損失23,103千円、経常損失23,984千円、親会社株主に帰属する中間純損失22,503千円を計上しております。

当該状況により継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当社グループは当該状況を解消し又は改善すべく、以下の対応策に取り組み、安定した収益基盤の確立、コスト削減および資金調達等による、財務基盤の強化を目指してまいります。

具体的には次のとおりであります。

1. 既存事業である歯科技工関連事業、オーラルケア製品製造販売事業及びマウスピース矯正事業の収益拡大と利益率の向上を目指し、さらに新規事業として歯科関連ビジネスの立ち上げと育成にも努めてまいります。
2. イオン歯ブラシの製造販売を行っている連結子会社アイオニック株式会社との連携によって、収益基盤の拡大とシナジー効果の創出に努めてまいります。
3. 主要取引先であり、アイオニック株式会社への共同出資を実施した株式会社シケンと引き続き緊密に連携し、収益の拡大を図ってまいります。
4. 人件費を含めた経費の全面的見直しを実施、不採算部門の縮小等リストラチャリングを積極的に推進し、キャッシュ・フローの最大化を目指してまいります。
5. 財務状態の改善を目指し、新たなファイナンスの検討を実施、同時に借入金等その他の資金調達についても進めてまいります。

以上の対応策を中心とした経営の効率化を図り、安定的な収益基盤を構築すべく努めてまいります。

しかしながら、これらの対応策は実施途上であり、計画が全て順調に推移するとは限らず、不測の事態も考えられることから、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、中間連結財務諸表は継続企業を前提として作成されており、上記のような継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を中間連結財務諸表には反映しておりません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、「歯科技工関連事業」、「オーラルケア製品製造販売事業」及び「マウスピース矯正事業」の3つを報告セグメントとしております。「歯科技工関連事業」は提携歯科技工所及び歯科クリニックから依頼される歯科技工物の製作受注を中心に、歯科技工関連商品（歯科技工材料、歯科技工機械）の販売も実施しております。「オーラルケア製品製造販売事業」は、イオン歯ブラシの製造販売を中心に、オーラルケア製品の製造販売を行っております。また「マウスピース矯正事業」はマウスピース矯正サービスを提供する提携歯科クリニックに対し、マウスピース等の歯科技工製品に関する技術的アドバイス及びサポート業務を実施しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報及び収益の分解情報

前中間連結会計期間（自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント			計	調整額 (注) 1	中間連結 財務諸表 計上額
	歯科技工 関連事業	オーラルケア 製品製造販売 事業	マウスピース 矯正事業			
売上高						
歯科技工	103,061	—	—	103,061	—	103,061
歯科技工商品・製品販売	26,019	—	—	26,019	—	26,019
歯科関連商品販売	19,157	—	—	19,157	—	19,157
オーラルケア製品製造販売	—	258,644	—	258,644	—	258,644
マウスピース矯正サービス	—	—	63,838	63,838	—	63,838
顧客との契約から 生じる収益	148,238	258,644	63,838	470,721	—	470,721
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	148,238	258,644	63,838	470,721	—	470,721
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
合計	148,238	258,644	63,838	470,721	—	470,721
セグメント利益又は セグメント損失（△）	△18,613	5,209	26,792	13,388	△13,971	△583

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益又はセグメント損失の調整額△13,971千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失は、中間連結財務諸表の営業損失と調整を行っております。

当中間連結会計期間（自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント			計	調整額 (注) 1	中間連結 財務諸表 計上額
	歯科技工 関連事業	オーラルケア 製品製造販売 事業	マウスピース 矯正事業			
売上高						
歯科技工	49,002	—	—	49,002	—	49,002
歯科技工商品・製品販売	19,617	—	—	19,617	—	19,617
歯科関連商品販売	44,492	—	—	44,492	—	44,492
オーラルケア製品製造販売	—	291,836	—	291,836	—	291,836
マウスピース矯正サービス	—	—	44,379	44,379	—	44,379
顧客との契約から 生じる収益	113,112	291,836	44,379	449,328	—	449,328
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	113,112	291,836	44,379	449,328	—	449,328
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
合計	113,112	291,836	44,379	449,328	—	449,328
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△15,684	△5,403	12,875	△8,212	△14,891	△23,103

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益又はセグメント損失の調整額△14,891千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失は、中間連結財務諸表の営業損失と調整を行っております。

(重要な後発事象)

連結子会社における資金の借入について

当社連結子会社であるアイオニック株式会社は、2025年10月22日開催の同社取締役会において、資金の借入について決議し、10月27日付で借入を行いました。

なお、詳細につきましては、2025年10月22日に公表いたしました「連結子会社における資金の借入に関するお知らせ」をご参照ください。